

RG POWER LED ヘッドバルブ 保証規定

- 1 正常な状態における、ご購入日より3年以内の不灯につきましては、無償にて代替品(ご購入製品と同一製品)を弊社が提供致します。また片側(1本)のみ不灯の場合も、左右両側(2本)の代替品を無償にて提供致します。尚、本製品の保証対象として改造車への装着・商用などでのデイトライトでの使用の場合は、対象外とさせていただきます。また、商用使用(タクシーやトラック)などでの使用は3年間ではなく、1年間保証となります。
 - 2 保証期間内の無償交換は1回限りとさせていただきます。但し万一代替品の不灯の場合には、最初に製品をご購入された日から起算して3年以内の不灯に限り、保証させていただきます。
 - 3 無償交換に伴い発生する付帯費用(交通費・送料・工費・その他諸費用)及び不灯によって発生した直接・間接の損害等の全てにつきましては、保証の対象外とさせていただきます。一切の保証はいたしかねます。
 - 4 次のような場合は、保証期間内でも保証の対象外とさせていただきますので、ご注意ください。
 - イ) 保証書のご提示が無い場合。または対象の現品が無い場合。
 - ロ) 本保証書の所定事項のご記入が無い場合、あるいは字句および印のお書き換え、改変がある場合。
 - ハ) 製品の不灯以外の外観上の変化及び劣化の場合。
 - ニ) 本保証書にお買い上げ店の捺印、ご購入日の明示が無い場合。但し、ご購入時の領収書又はお買い上げ店名・ご購入日が確認出来る領収書(レシート)をお持ち頂ければ結構です。この場合、本保証書に領収書を必ず添付してください。
 - ホ) 現品の状況から、弊社が下記事由に起因する破損及び不灯であると判断した場合も保証の対象外とさせていただきます。
 - ・ご購入後のお取り扱い、お取付けの不備・不注意・移動時の落下等による破損及び不灯。
 - ・取扱説明書にて当社が推奨する方法以外による、お取扱い、お取付けを行われた事によって生じた破損及び不灯。
 - ・交通事故、火災、地震、水害、その他天災による破損及び不灯。
 - ・改造、分解、不当な修理に起因して生じた破損及び不灯。
 - ・異常電圧、指定外の使用条件等による原因の破損および不灯。又は誤ったご使用による原因の破損及び不灯。
 - ・接続している他の部品に起因して生じた破損及び不灯。
 - ・お客様及び第三者の責任に帰すと認められる破損及び不灯。
 - ・その他製造者の責に帰し得ない一切の破損及び不灯。
- 5 本保証書の再発行は致しません。
 6 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
 This warranty is valid only in japan.
 尚、本保証書は本書所定の保障期間内において、本書に記載された内容の保証をお約束するものであり、お客様の法律的権利を制限するものではありません。
 保証期間経過後においても、ご不明の点がございましたら、弊社までお問い合わせください。

発売元：辰巳屋興業株式会社 自動車用品部

〒124-8538 東京都葛飾区西新小岩3-8-4 TEL.03-3696-0620 FAX.03-3696-6721

<https://www.racinggear.co.jp>

RG POWER LEDヘッド・フォグ保証書

この度は弊社製品(RG POWER LED ヘッドバルブ)をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。本製品はRG POWER LED ヘッドバルブ保証規定に基づきご購入3年間のご使用について保証致します。お買い上げ後、万が一保証期間内に不灯となった場合には、ご購入品であった場合も含めまして、国内での本製品をご利用のお客様へ下記保証規定に基づき無償にて代替品を提供致します。保証期間中に不灯となった場合は必ず本保証書に装着車両などの必要事項を記入、

●販売店様へお手数ですが、製品の販売時に下記の販売店様記入欄にご記入・捺印の上、お客様にお渡しください。万一ご記入の無い場合には、保証が無効となりますので、必ずご確認ください。

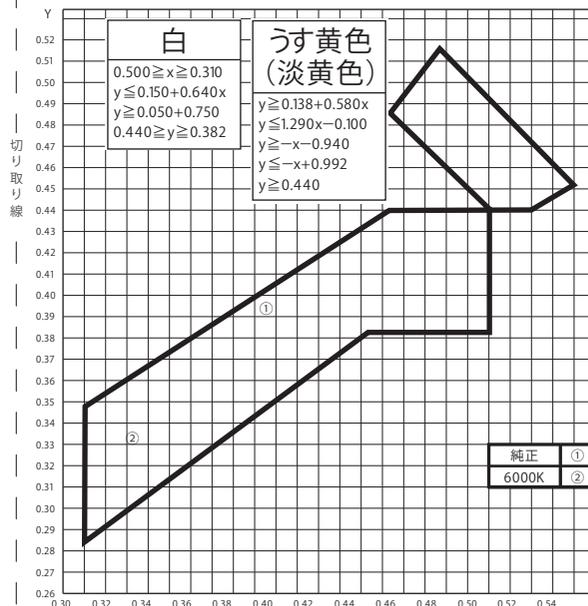
販売店様記入欄	品番() ※品番をご記入ください。
バルブタイプ	
保証期間	お買い上げ日より3年間
お買い上げ日	年 月 日
装着車の情報	車種名: 型式(年式):
販売店	販売店名: 様 ご担当者: 様
住所:〒	都道府県
TEL:	区市町村
修理メモ	修理受付日 年 月 日 ご担当者: 様
不具合症状	

●ご購入されたお客様へ お買い上げ後直ちにお客様記入欄の必要事項を明確にご記入ください。また、販売店様記入欄に記入の無い場合は直ちにお買い上げの販売店に申し出てください。本保証書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

お客様記入欄	フリガナ お名前 様
住所:〒	都道府県
TEL・携帯:	区市町村

車検対応の色度について

本製品は、日本工業規格(JIS規格)D5500に規定されています白色範囲におさまるよう設計、生産されていますが、車検場検査設備の関係で検査員の目視による判断により、車検に通らない場合があります。その場合、元の純正バルブに交換してご対応ください。



RG POWER LEDヘッド・フォグバルブ

取扱説明書

COMPACT STAR HF2 コンパクトスターエイチエフツー

この度はRG製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。長い間ご愛用頂く為に、ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に大切に保管しておいてください。

お客様へ この商品を譲ったり、貸したりする場合には、必ずこの取扱説明書を含めてお渡しください。

取扱店様へ この取扱説明書は取付後に、必ずお客様へお渡しください。

安全上のご注意

- 本取扱説明書の注意事項を守らなかった事が原因で発生した事故や破損につきましては、一切の責任を負いかねます。
 - 点灯中や消灯直後に紙や布で覆ったり、燃えやすい物に近づけたりしないでください。火災の原因となることがあります。
 - ライトに関わる他社商品(後付けオートライトやオートハイビーム等)との併用は行わないでください。故障や車両火災の原因となることがあります。
 - 引火する可能性のあるところ(ガソリン・シンナーの付近等)で点灯しないでください。爆発や火災の原因となることがあります。
 - 交換の際は、本商品のヒートシンク部に灯具やコードが触れていない事を確認して取り付けてください。火災の原因となることがあります。
 - 分解や改造はしないでください。故障の原因となるだけでなく、関電・発火及びけがの原因となることがあります。
- 注) 本取扱説明書中のイラストは、取り付け作業を行う上で、各部品及び各部分の特徴を強調しており、実際の形状と異なる場合があります。

●内容品：LEDバルブ 2個、取扱説明書

※RGH-P982 には HB3/HIR1 の O リング、ステンレススパーサー、六角レンチが付属されています。

使用上のご注意

- 交換の際には、水分や油分が付着しないよう十分気を付けてください。破損や短寿命の原因となることがあります。
- 国産 12V 車用です。輸入車・特殊・特装車両には取付できません。(H4 は 12/24V 兼用タイプとなります。)
- 本商品は自動車の純正ハロゲンバルブ(ハイビーム・ロービーム・フォグバルブ)の交換用バルブです。また、適用以外の他バルブとの互換性はありません。
- 本商品には適用可否があります。必ずパッケージ掲載の QR コードで適合条件をご確認ください。
- 交換の際は、定格(車両電圧)・口金形状・ソケットの向きを確かめて、確実に装着してください。本商品の脱落・過熱の原因となることがあります。
- バルブの破損や発煙の原因となることがありますので、発光部(LEDチップ・電子基板)に触れないでください。※バルブ全体が発熱するため、ヤケドに注意してください。
- バックカバーが付いている車両には取付できない可能性があります。
- 光軸は走行中のショック・タイヤの空気圧や車体重量の変化でずれる可能性があります。故障ではありませんので、適宜光軸調整を行ってください。
- アイドリングストップ機能を有している車両やバッテリーが弱くなった車両に使用した場合、ロービームとハイビームを切り替える際やエンジン始動時に一瞬不点灯やちらつきなどの症状が発生する場合があります。
- カメラ・ミリ波・赤外線・超音波などを利用した先進機能は、純正バルブの使用を前提に設計・調整されているため、本商品を装着することにより正常に作動しなくなる恐れがあります。本商品を使用したことによる下記車両装備の作動不良、及びそれに生じた事故・損害については一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 例) アダプティブヘッドランプ、オートマッチングハイビーム、衝突被害軽減システム、駐車支援システム、誤発進制御システム、レーダークルーズコントロール、斜線逸脱防止支援システム、クリアランスソナーなど。
- 点灯確認は、ライトスイッチを「AUTO」ではなく、「点灯」の位置で行なってください。ライトのスイッチが「AUTO」でハイビームアシスト機能が作動して自動的にロービームが点灯している際は、ハイビーム・ロービームの切替ができません。

- 取付作業後、各電装品(ランプ・ワイパー・オーディオ等)が正常に動作することを確認ください。
- 灯具の種類(反射鏡やレンズの形状・ソケットの向き)によって、点灯時の明るさ及び色の見え方が変わる場合があります。そのため、自動車検査場によっては車検に通らない場合もあります。
- 車両灯具のレンズ面やリフレクターにキズやくもりがある場合、バルブ本来の性能を発揮できない事がありますので、事前に灯具の状態を確認ください。
- 一部の車両では、本商品使用時にノイズが発生し、ラジオ等に雑音が入る場合があります。
- 車両によっては球切れなど感知するためにスイッチを切った状態でも、車両側が微弱電流を流しており、薄っすら点灯してしまう場合がありますが、車両の仕様によるものであり、商品の不具合ではありませんので、ご了承ください。
- 万一ハイビームインジケータが正常に作動しない場合には、別売のハイビームインジケータキャンセラー「品番:RGH-P953(12V/24V 兼用)」をご使用ください。
- 一部の車種では、警告灯の点灯やコンピュータに支障をきたす恐れがありますので、事前に販売店などに確認してください。
- バルブの交換時は、必ず自動車整備工場または販売店で行なってください。誤った接続は不点灯・誤作動の原因となります。(交換の際は車両の取扱説明書をよく読んで行ってください)
- 交換後、車両に何らかの不具合が発生した場合は、直ちに本商品の使用を中止して販売店などで点検を受けてください。
- 交換したハロゲンバルブは大切に保管して、万一使用中に不具合が生じた場合には速やかに使用を中止し、純正バルブに戻してください。

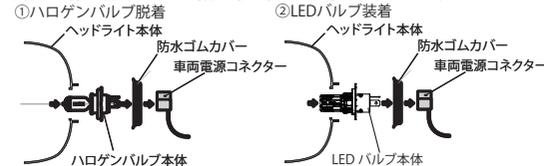
H4バルブ交換方法例

①ヘッドランプ・ゴムカバーの取り外し

車両取扱説明書または、整備解説書を参考にして本商品を取付ける箇所のバルブを取り外してください。※点灯時は熱いので良く冷めてから作業を行ってください。

②LEDバルブの取付

LEDバルブの形状を確認し、挿入取付してください。※整備解説書参照。ハロゲンバルブを外した要領の逆の手順で装着してください。取扱いの際、LEDバルブ発光部は手で触らない様にしてください。



③配線の接続／点灯確認

LEDバルブ装着、電源コネクタをしっかりと差し込んだら、点灯及びハイロー切替動作確認を行ってください。 ※端子は抜けないようにビニールテープなどで固定推奨。

シングルバルブ交換方法例

①ヘッドランプ取り外し・取付

車両取扱説明書または、整備解説書を参考にして本商品を取付ける箇所のバルブを取り外してください。元のバルブを取り外した時と逆の手順でLEDバルブを取付ます。LEDバルブと車両側電源コネクタを接続し点灯確認を行ってください。

※H8/H9/H11/H16 装着時ご注意

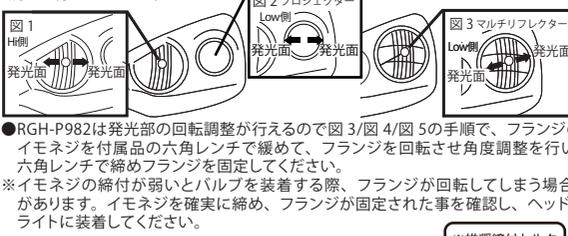
本製品に発光部回転調整機能は有りません。

●図1/図2/図3の様にリフレクターのカットラインに合わせて発光部を回転させて調整する機能は有りません。車両によって左右のバルブ装着角度が異なる場合もありますが、明るさや配光には問題ありません。

※HB3/HIR1/HB4/HIR2 装着時ご注意

本製品に発光部回転調整機能が有ります。

●図1/図2/図3のようにリフレクターのカットラインに合わせて発光部を回転させて調整を行ってください。



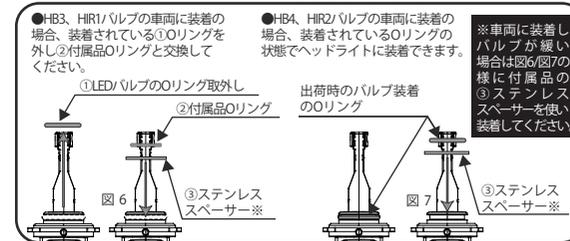
●RGH-P982は発光部の回転調整が行えるので図3/図4/図5の手順で、フランジのイモネジを付属品の六角レンチで緩めて、フランジを回転させ角度調整を行い六角レンチで締めフランジを固定してください。 ※イモネジの締付が弱いとバルブを装着する際、フランジが回転してしまう場合があります。イモネジを確実に締め、フランジが固定された事を確認し、ヘッドライトに装着してください。

③ 図3 ④ 図4 ⑤ 図5

※推奨締付トルク 0.3N・m

《注意》調整の際、LED発光面(黄色い部分)は絶対に触れないようにしてください。早期点灯不良の故障の要因となります。

※HB3、HIR1、HB4、HIR2 に装着する場合



※H1/H3/H7バルブサイズについて

本製品シリーズは純正バルブと同寸法で設計を行っておりますが、H1/H3/H7用に関して、純正バルブに対してやや大きめのサイズとなっており、装着時に干渉して取付できない場合がございます。装着の際は、バルブ挿入口のサイズ・バルブ装着時の後方寸法などを本製品と比較して装着いただけるようお願いいたします。



②フォグランプ取り外し・取付

車両取扱説明書または、整備解説書を参考にして本商品を取付ける箇所のバルブを取り外してください。元のバルブを取り外した時と逆の手順でLEDバルブを取付ます。LEDバルブと車両側電源コネクタを接続し点灯確認を行ってください。

●図10/図11の様に、LEDバルブをフォグランプへ装着の場合、LED発光面がランプ正面から見て左右方向に向くよう装着してください。 RGH-P981は、回転機構が無い為、車両によって左右のバルブ装着角度が異なる場合もありますが、明るさや配光には問題ありません。

●フォグランプの光軸調整は車両メーカーマニュアルを確認の上、下図を参考に光軸調整を行ってください。車両を平坦な場所に停車し、壁やクリーンに向かって平行にフォグランプを点灯させてください。図12フォグランプの中心線より下方にカットオフラインがくるように調整します。光軸調整はフォグランプユニットの光軸調整機構にて調整していただく

